

第113回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 県の作文に入選したことについて

障がい者に関する茨城県の作文に入選したので報告にきた。役場の職員が写真を撮ってくれたが、もう見たか。見ていないなら、役場にまた寄って見せたい。

⇒【村長コメント】

まだ、見ていない。時間を取るので、事前に連絡をしてもらい、見せてもらいたい。

【2】 - 1 猫の件について

以前から猫の糞については相談している。役場の職員も来てくれた。飼い主も自分が飼っている猫だと認識しているようだ。(猫除けを使っても)匂いに慣れてしまうとダメなようである。(猫の糞)被害を受けていない人にはなかなか伝わりにくいし、切ないと感じている。

⇒【村長コメント】

基本的には個人、個人のモラル、マナーの問題である。あまり言い過ぎると御近所トラブルのようになってしまうし、難しい問題であることは理解している。

【2】 - 2 俳句について

俳句が好きで書いている。また、サツマイモの歌を作詞したが、歌詞はできるが曲が作れない。アイヴィルに歌詞を持って行ったこともあるが、曲にするのはお金がかかるだろうとのことだった。

⇒【村長コメント】

歌詞は預かせてもらって見てみる。曲については、プロではないが聞いてみる。聞いてみて後で連絡する。

【2】 - 3 信号について

以前に歩行者信号を長くしてもらいたいと相談した。少し長くなったと役場から電話がきたが、長くなったようには感じていなかった。しかし、村議会議員の選挙の時から長いと実感できるほど延長されたようである。

⇒【村長コメント】

信号の長さは警察でしか変えられない。要望があった所については、ひたちなか警察署長にも県警の交通規制課長にも伝えている。長くなったなら良かった。

【3】 小学校におけるいじめ、学級が落ち着かない状況に対する学校の対応について

息子のクラスでは、特定の児童による暴言等があり、自分の子ども以外も被害を受けている。子どもの学習機会を守るため、いじめ防止対策推進法第23条第4項に基づく加害児童への対応を学校に求めているが実現していない。これに対し、村長はどこまで介入できるのか。判断の決定ができるのは誰になるのか。

学校の対応が後手後手になっているのはなぜかと思う。学校のスタンスを把握したく文書で回答を求めているが出てこない。

⇒【村長コメント】

当該クラスの件は報告を受けていたが、さらに踏み込んだ対応が必要になっている段階とは

聞いていなかった。事件・事故など最悪な事態にならないような対応が必要であり、週明け速やかに教育委員会と話をする。判断の決定を行うのは現場の責任者である校長だと思う。

教育委員会で学校の巡回指導に行っているが、学校の中での意思疎通も、風通しが良くないとなかなか校内のすべてを見抜くことはできない。改めて毅然とした対応をとっていきたいと思うし、学校は率先していじめに対応しているなら、自信をもって文書を出せると思う。

※その後の関係者との個々の対応は、取り扱いに配慮が必要な内容が含まれますので、当日のやりとりのみの掲載とします。

【4】 総合計画について

総合計画のキックオフミーティングに行った。これまで2回村の総合計画の策定に携わった。1回目は行政主導であったように感じる。また、コンサルタントが作成すると同じようなものになってしまうと感じている。現実的な言葉で書く必要があると思うし、まちがどうなるかの絵が見えない。ある程度東海村がどうしていくかという「道しるべ」があるといい。

伊藤講師の話には同調した。企業は10年先を見て、「今投資をしないとダメな時期か」を考える。今日のように（キックオフミーティングを）開催したのは良いと思っている。

⇒【村長コメント】

羅針盤のようなものがあればいいと思っている。より具体的な言葉ならさらによいと思う。以前ほどコンサルタント任せではなくなってきたが、（総合計画は）ソフト中心であり、確かにわかりにくいとも思う。企業のやり方を全て真似はできないが、例えば、国道6号も4車線化されるし、ハード的な内容も入れる必要があるかもしれない。今日はキックオフミーティングということで最初だが、令和6年度には話し合いを進めていきたい。

【5】 - 1 放課後の学習支援について

以前も相談したことはあるが、STEAM教育のようなものをやりたいと思っており、空いている教室や公民館はないか。最初は中丸地区が良いと思っている。子どもだけでなく、親も一緒に成長してもらいたい。大学受験にしても、親が飛行機や宿を予約し、子どもは受験するだけである。このような状況は子どもの自立にはよくないと思うが、やはり問題は場所である。

また、月謝がないといい人材は集まらないと思う。つくばにも同様の事例があると思う。創業スクールも卒業したので、経営も少しは分かると思う。会計ソフトも使えるし、運営はできると思う。

目標としては「第三の居場所」だと思っている。多様性が必要だと思っている。

⇒【村長コメント】

お話を聞くと、幼稚園の延長線のような形になるのだと思う。（以前相談を受けた）学童は就労支援である。教室を借りて実施する時に、ビジネスまでではないにしても、月謝を取って実施するのはハードルが高いかもしれない。

受験勉強でなく能力の教育であるなら、才能を見つけて伸ばす教育も良いと思う。STEAM教育をしたいなら、不登校になってしまった生徒のフリースクール等、塾というよりNPOのような形態が良いのではないか。フリースクールのニーズはこれからもっと増えてくると思う。

（相談者の）進みたい方向が見えたということで良かったと思う。

【5】 - 2 村議会議員選挙の結果について

今回の村議会議員選挙では村上志保議員がトップ当選した。一方、天気が悪かったこともあ

るが投票率も落ちている。今までの議会の在り方について村長はどう受け止めているか。現職が何人か落選もしている。

⇒ **【村長コメント】**

今回の結果としては、新人への期待値だったり、世代交代だったり、新しい風を入れたいという想いがあったのだと思う。新人5人が出馬しているにも関わらず、投票率がまた上がらなかったのは無関心な人が多くなってしまったかなと思うところがある。

【6】 信号の設置について

村松小学校の108階段のところには信号が設置されたが、その手前の交差点のところにはない。事故も起きているので是非設置してもらいたい。

⇒ **【村長コメント】**

信号機の設置については、ひたちなか警察署長や交通規制課長にも伝えている。細かいタイミングまではわからないが、信号の設置については、茨城県全体で審査会のようなものを開いて、どこを優先させるか決定しているようだ。108階段のところだけを設置すれば大丈夫ではないということは伝えているところである。

【7】 子どもが授業を含め落ち着いて学校生活を送れない状況について

これまでも相談してきたが、子どものクラスで特定の児童による暴言等や、先生に対する反抗的な態度が止まらない。昨年の6月には一度下火にはなったが、9月からは戻った状態。学校では先生の配置を増やすなどの対応があったが、問題はそこではないと感じている。

⇒ **【村長コメント】**

深刻な問題になっており、このまま学年が進行してしまうのはよくないと思う。学校の対応を教育委員会と相談しないで進めているとは思えないが、状況を確認する。根本的には保護者も含めて話をしなければならないと思う。

※その後の関係者との個々の対応は、取り扱いに配慮が必要な内容が含まれますので、当日のやりとりのみの掲載とします。